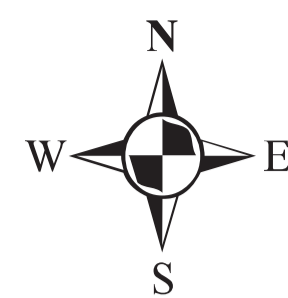
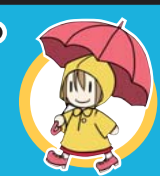


新潟市 浸水ハザードマップ 南区編



● 新潟市浸水ハザードマップとは ●

この浸水ハザードマップは、河川のはん濫がはじまる前までを想定しており、下水道の雨水排水能力を上回る雨が降った場合に浸水の発生が想定される区域と深さを表示するとともに、浸水への対応や避難所などを記載したものです。

〈想定条件〉

- (1) 想定している降雨は、平成10年8月4日に新潟市で観測された最大の降雨です。
- (2) 下水道施設の排水能力は、平成31年3月時点のものです。
- (3) 河川水位は、氾濫しない範囲での計画高水位を想定しています。
- (4) 想定を超える雨が降った場合や、河川のはん濫等は考慮していませんので、実際の浸水区域や浸水深がこの図より大きくなる可能性があります。

〈平成10年8月4日の降雨〉

新潟観測所で観測された最大降雨（時間最大降雨97mm）であり、甚大な被害をもたらした降雨です。
この降雨は下水道の排水の能力を上回り、河川のはん濫がない状況で浸水被害が発生しました。

①	②	③
④	⑤	⑥
⑦	⑧	⑨
⑩	⑪	⑫
⑬	⑭	⑮
⑯	⑰	⑱
⑲	⑳	㉑
㉒	㉓	㉔
㉕	㉖	㉗
㉘	㉙	㉚
㉛	㉜	㉝
㉞	㉟	㊱
㊲	㊳	㊴
㊵	㊶	㊷
㊸	㊹	㊺
㊻	㊼	㊽
㊾	㊿	

平成30年4月現在

避難所一覧

No.	施設名	所在地	電話番号 (025)	地盤高 (m)
15	大鷲小学校	東笠巻1202番地	3 6 2 - 5 4 3 1	1. 2
16	大鷲地域生活センター	大鷲新田751番地6	2 8 0 - 2 0 4 3	2. 0
18	鷲巻地域生活センター	東笠巻新田278番地1	3 6 2 - 5 7 1 1	3. 0

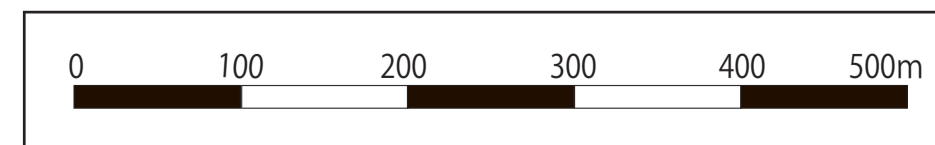
※着色は避難所周辺の浸水深さを表しています。



凡例

〈浸水深〉		区界又は行政界
80 cm - 100 cm	対象区域	
60 cm - 80 cm	避難所	
45 cm - 60 cm	ポンプ場	
30 cm - 45 cm	冠水の恐れのある主なアンダーパス箇所	
10 cm - 30 cm	アンダーパスとは、道路及び鉄道の立体交差部で掘り下がり式になっている道路(掘りの地盤よりも部分的に低くなっている道路)で通行止めになる箇所もあります	
0 cm - 10 cm未満		

想定降雨：平成10年8月4日
(1998年8月4日)
排水施設：平成31年3月時点
(2019年3月時点)



※表示している浸水区域は、主に市街地の内水浸水区域を想定しています。(田んぼ浸水深は反映していません。)

